

敷地南側海底土採取地点の変更について

2021年6月10日

TEPCO

東京電力ホールディングス（株）
福島第二原子力発電所

2021年2月、3月の地震により、敷地南側海底土採取地点付近で崖崩れが発生したため、現在の採取地点でのサンプリングが困難となり今後においても落石等の危険があるため、採取地点を新たに選定し2021年度第1四半期より新規地点でのサンプリングを開始する。

【新規地点の選定について】

- ・ 現地点の近傍であること。
- ・ 採取が安全に実施できること。

従来の海底土採取地点の現状

○地震発生後の敷地南側崖の状況

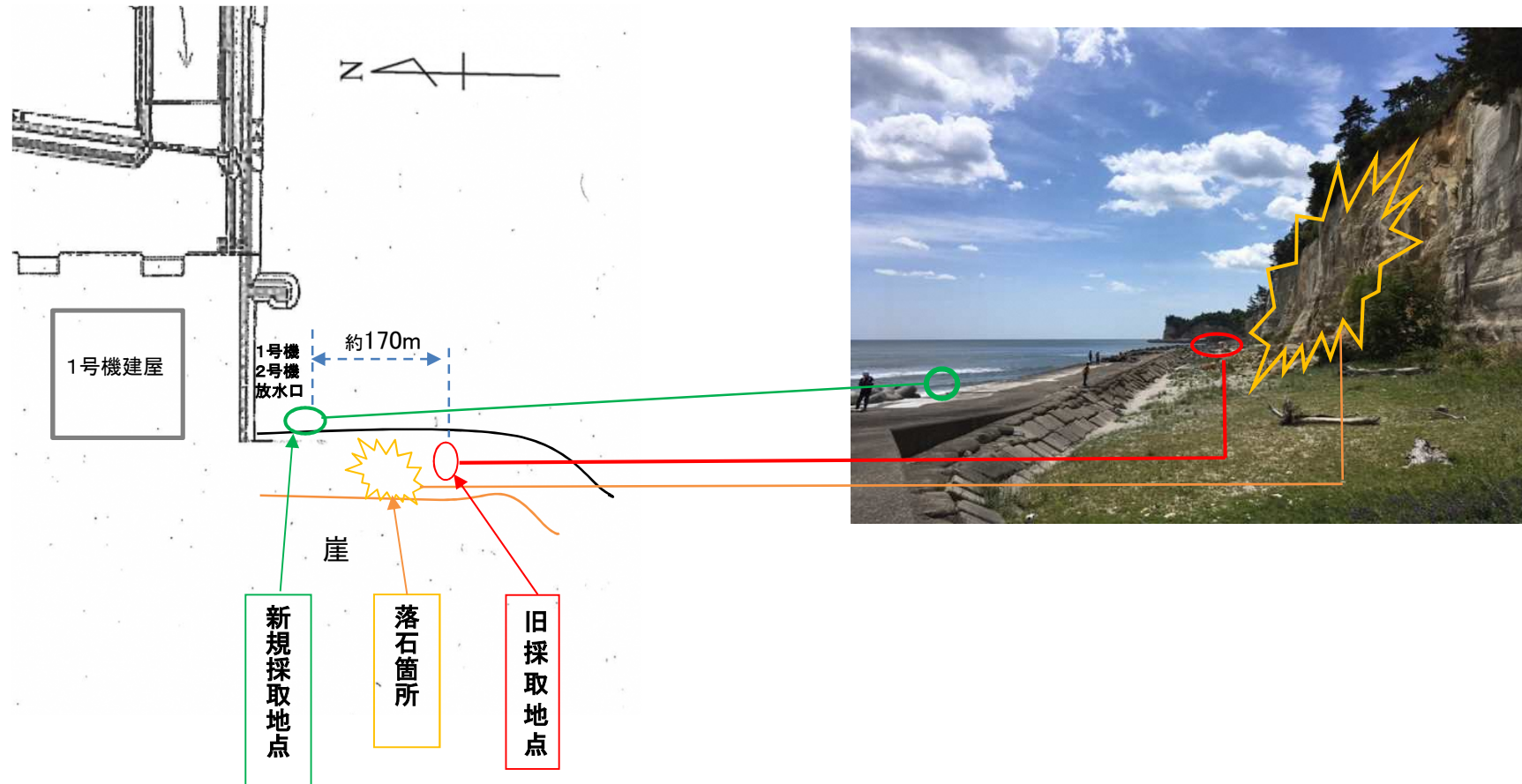


- ・従来の採取地点に落石が発生していることから、採取地点へのアクセス及び採取が困難であると判断した。
- 今後の地震による落石等からの危険を回避するため、敷地側へ採取地点を変更しサンプリング業務の安全を確保する。

海底土採取地点の新規選定場所



○新規採取地点



○新旧地点比較表

	旧採取地点	新規採取地点
緯度・経度	緯度：北緯37.311 経度：東経141.0251	緯度：北緯37.313 経度：東経141.0254
放水口からの距離	約250m	約130m
水深	0m（波打ち際）	
土質	砂	
新規地点と旧地点との距離	約170m	

・地震の影響による採取地点変更のため、安全上の問題を考慮すると並行測定は実施できない事から、旧採取地点における過去の測定結果との比較、新規採取地点における測定結果の安定性等を確認し、地点変更の妥当性・評価結果を改めて報告いたします。